

介護給付費等に関するモニタリングについて 実施日 令和6年3月22日

1 目的

保険者機能強化推進交付金の評価指標に基づき、令和4年度における認定者数、サービス種類別の給付実績のモニタリングを行い、介護保険事業計画で定めた計画値と実績値の乖離状況を把握するとともに、その要因について考察するものである。

2 第1号被保険者数

第1号被保険者数について、令和4年度は計画値ほど伸びておらず、前年度より減少しているため乖離が見られる。一方、後期高齢者については計画値、前年度と比べ多く増加しているが、合計値が前年度より減少していることから、計画値よりも高齢化が進んでいる。

また、前期高齢者数と後期高齢者数について、令和2年度より後期高齢者が前期高齢者を上回っており、いわゆる「団塊の世代」が後期高齢者となるまでこの傾向は続くものと見込んでいる。

		第7期		第8期	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度
計画値	合計(人)	21,688	21,109	21,243	
	前期高齢者	10,784	10,295	9,645	
	後期高齢者	10,904	10,814	11,598	
実績値	合計(人)	20,966	20,982	20,951	
	前期高齢者	10,386	9,905	9,242	
	後期高齢者	10,580	11,077	11,709	
対計画比	合計(%)	96.7%	99.4%	98.6%	
	前期高齢者	96.3%	96.2%	95.8%	
	後期高齢者	97.0%	102.4%	101.0%	

【出典】 計画値：第7期、第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

実績値：介護保険事業報告年報

※実績値については各年度3月末時点

3 第1号被保険者認定者数

令和4年度の実績値は、計画値を上回っており、特に要支援1、要支援2の介護予防事業の伸び率が高い。一方、要介護4・5は計画値を上回っているものの、要介護1・2・3については、計画値を下回っている。また、要介護1～5で見ると計画値を下回っているため、介護予防事業等により介護度の進行が抑えられていると考えられる。介護度が高くなると一人当たりの受給額についても高くなる傾向があるため、引き続き介護予防事業等を実施する。

		第7期	第8期	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
計画値	合計(人)	3,024	3,013	3,172
	要支援1	227	274	288
	要支援2	307	314	329
	要介護1	962	906	952
	要介護2	507	520	546
	要介護3	411	431	460
	要介護4	343	332	349
	要介護5	267	236	248
実績値	合計(人)	2,958	3,069	3,234
	要支援1	267	321	346
	要支援2	345	347	359
	要介護1	875	863	922
	要介護2	493	509	502
	要介護3	414	408	429
	要介護4	325	387	413
	要介護5	239	234	263
対計画比	合計(%)	97.8%	101.9%	102.0%
	要支援1	117.6%	117.2%	120.1%
	要支援2	112.4%	110.5%	109.1%
	要介護1	91.0%	95.3%	96.8%
	要介護2	97.2%	97.9%	91.9%
	要介護3	100.7%	94.7%	93.3%
	要介護4	94.8%	116.6%	118.3%
	要介護5	89.5%	99.2%	106.0%

【出典】 計画値：第7期、第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

実績値：介護保険事業報告年報

※実績値については各年度3月末時点

4 第1号被保険者認定率

令和2年度から令和4年度の実績値については、一貫して計画値を上回っている。理由としては、第1号被保険者数が計画値を下回っているのに対し、第1号被保険者認定者数が計画値を上回っているため、割合が上昇したと考えられる。

		第7期		第8期		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度		
計画値	合計 (%)	13.9	14.3	14.9		
	要支援 1	1.1	1.3	1.4		
	要支援 2	1.4	1.5	1.5		
	要介護 1	4.4	4.3	4.5		
	要介護 2	2.3	2.5	2.6		
	要介護 3	1.9	2.0	2.1		
	要介護 4	1.6	1.6	1.6		
	要介護 5	1.2	1.1	1.2		
実績値	合計 (%)	14.1	14.6	15.4		
	要支援 1	1.3	1.5	1.7		
	要支援 2	1.6	1.7	1.7		
	要介護 1	4.2	4.1	4.4		
	要介護 2	2.4	2.4	2.4		
	要介護 3	2.0	1.9	2.0		
	要介護 4	1.6	1.8	2.0		
	要介護 5	1.1	1.1	1.3		
対計画比	合計 (%)	101.5%	102.3%	103.6%		
	要支援 1	115.8%	117.7%	118.0%		
	要支援 2	117.5%	110.3%	114.2%		
	要介護 1	94.9%	95.7%	97.8%		
	要介護 2	102.2%	97.0%	92.2%		
	要介護 3	103.9%	97.2%	97.5%		
	要介護 4	96.9%	115.3%	123.2%		
	要介護 5	95.0%	101.4%	104.6%		

【出典】 計画値：第7期、第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

実績値：介護保険事業報告年報

※実績値については各年度3月末時点

※4 第1号被保険者認定率実績値根拠資料参照

5 給付費

○介護サービス給付費

令和2年度から令和4年度については、計画値を実績値が常に下回っている状況であるが、令和4年度は、策定した第8期介護保険事業計画の2年目であることから、令和3年度と比較して乖離が大きくなっている。

介護給付費は、令和3年度と比較して、全体的に増加している。これは介護サービス受給者数の増加や令和4年10月からのベースアップ加算新設による影響など、様々な要因が複合的に合わさり増加していると考えられる。

居宅介護サービス給付費は、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、及び特定施設入居者生活介護については、計画値を上回っており、令和4年度の給付実績額が前年度よりも上がっている。訪問リハビリテーションについては、コロナ渦において大勢の人と接することを回避したと思われ、これは通所リハビリテーションが計画値を下回り、令和4年度の給付実績額が前年度から伸びていないことから置き換わったのが見て取れる。特定施設入居者生活介護については、令和3年3月に市内に新たな介護付有料老人ホームが開設されたことにより利用者が増加したためであり、それに伴い、訪問診療利用者も増えたため、居宅療養管理指導が増加したと考えられる。また、通所介護については、令和4年度の給付実績額が前年度とほぼ同額であるものの実績値は計画値を下回っており、当初見込んでいたほど増加しておらず、サービス利用者がコロナ渦において人との接触をできるだけ避けたものと思われる。

施設介護サービス給付費が計画値を下回ったのは、最も割合の高い介護老人福祉施設についてはほぼ計画値どおりであるが、介護療養型医療施設が令和5年度末をもって廃止されるサービスであることから計画値を下回っているためである。

地域密着型サービス給付費については地域密着型通所介護が計画値を下回っており、前年度よりも給付実績額が下がっている。サービス利用者がコロナ渦において大勢の人と接することを回避したと思われる。小規模多機能型居宅介護については月額による包括請求のため利用控えによるサービスの影響を受けにくいサービス形態であり、前年度とほぼ同額の給付実績額となっているものの、第8期計画期間中の整備が遅れているため、計画値を大きく下回っている。

		第7期			第8期		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度
計画値	総給付費（円）	5,180,864,000	4,695,710,000	4,941,812,000			
	居宅介護サービス給付費	2,652,832,000	2,684,717,000	2,851,005,000			
	施設介護サービス給付費	1,984,169,000	1,502,030,000	1,529,949,000			
	地域密着型介護サービス給付費	543,863,000	508,963,000	560,858,000			
実績値	総給付費（円）	4,212,096,682	4,381,791,110	4,505,346,483			
	居宅介護サービス給付費	2,368,225,509	2,474,888,306	2,572,994,320			
	施設介護サービス給付費	1,367,151,962	1,419,050,364	1,446,067,322			
	地域密着型介護サービス給付費	476,719,211	487,852,440	486,284,841			
対計画比	総給付費（%）	81.3%	93.3%	91.2%			
	居宅介護サービス給付費	89.3%	92.2%	90.2%			
	施設介護サービス給付費	68.9%	94.5%	94.5%			
	地域密着型介護サービス給付費	87.7%	95.9%	86.7%			

【出典】 計画値：第7期、第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

実績値：介護保険事業報告年報

○介護予防サービス給付費

令和2年度と令和3年度については、計画値を実績値が下回っている状況であるが、令和4年度は、介護予防サービス給付費が伸びたことによりほぼ計画値どおりとなっている。

介護予防サービス給付費は、令和2年度と比較して、全体的に増加している。これは介護予防サービス受給者数の増加や令和4年10月からのベースアップ加算新設による影響など、様々な要因が複合的に合わさり増加していると考えられる。要支援1、2の認定者数及び認定率は計画値を上回っているにも関わらず給付費が計画値ほぼ同額なのは、要支援認定をされたが介護予防サービスを使わない者の存在による原因が考えられる。

介護予防サービス給付費は、介護予防訪問看護、介護予防訪問リハビリテーション、介護予防居宅療養管理指導、及び介護予防特定施設入居者生活介護については、計画値を上回っており、令和4年度の給付実績額が前年度よりも上がっている。介護予防訪問看護や介護予防居宅療養管理指導については一貫して計画値を上回っているため、在宅医療の需要が高くなってきており出来る限り住み慣れた地域で暮らせるような体制が求められている。介護予防訪問リハビリテーションについては、コロナ渦において大勢の人と接することを回避したと思われ、これは介護予防通所リハビリテーションが計画値を下回り、令和4年度の給付実績額が前年度よりも下がっていることから置き換わったのが見て取れる。介護予防特定施設入居者生活介護については、令和3年3月に市内に新たな介護付有料老人ホームが開設されたことにより利用者が増加したことと介護度が低く、介護保険施設に入所できない者への代替利用により増加したものと思われる。また、介護予防特定施設入居者生活介護について毎年度計画値を大幅に上回っているのは、介護度が低く介護保険施設へ入所できない者への代替利用により増加したものと思われる。

地域密着型介護予防サービス費については、介護予防小規模多機能型居宅介護について、令和4年度は給付実績額が計画値を下回っているが、これは第8期計画期間中の整備が遅れているためである。

		第7期		第8期		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	
計画値	総給付費 (円)	111,713,000	94,267,000	98,213,000		
	介護予防サービス給付費	110,209,000	90,648,000	94,592,000		
		0	0	0		
		0		0		
		3,148,000	5,369,000	5,778,000		
		10,695,000	7,580,000	7,845,000		
		1,984,000	3,579,000	3,743,000		
		0	0	0		
		45,233,000	23,017,000	23,805,000		
		660,000	783,000	799,000		
		862,000	0	0		
		3,484,000	12,826,000	13,989,000		
		11,657,000	12,128,000	12,481,000		
		2,349,000	1,520,000	1,520,000		
		6,728,000	8,913,000	8,913,000		
		23,409,000	14,933,000	15,719,000		
		地域密着型介護予防サービス給付費	1,504,000	3,619,000	3,621,000	
			1,504,000	1,204,000	1,204,000	
			0	2,415,000	2,417,000	

実績値	総給付費（円）	82,978,212	91,788,566	97,515,539
	介護予防サービス給付費	80,883,243	89,295,237	95,135,316
		-43,809	0	0
		0	0	0
		4,835,023	6,032,322	8,176,914
		8,422,258	8,403,376	12,715,860
		3,505,915	5,412,859	7,209,114
		-624,385	0	0
		18,627,015	18,246,863	12,496,066
		397,848	672,881	552,894
		88,796	218,317	195,406
		12,525,351	14,895,775	18,246,993
		11,695,157	13,431,820	13,980,039
		617,715	738,000	899,548
		6,566,282	6,009,248	5,339,835
		14,270,077	15,233,776	15,322,647
		地域密着型介護予防サービス給付費	2,094,969	2,493,329
		1,606,940	1,058,258	1,576,815
		488,029	1,435,071	803,408
対計画比	総給付費（％）	74.3%	97.4%	99.3%
	介護予防サービス給付費	73.4%	98.5%	100.6%
		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
		153.6%	112.4%	141.5%
		78.7%	110.9%	162.1%
		176.7%	151.2%	192.6%
		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
		41.2%	79.3%	52.5%
		60.3%	85.9%	69.2%
		10.3%	#DIV/0!	#DIV/0!
		359.5%	116.1%	130.4%
		100.3%	110.8%	112.0%
		26.3%	48.6%	59.2%
		97.6%	67.4%	59.9%
		61.0%	102.0%	97.5%
		地域密着型介護予防サービス給付費	139.3%	68.9%
		106.8%	87.9%	131.0%
		#DIV/0!	59.4%	33.2%

【出典】 計画値：第7期、第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
実績値：介護保険事業報告年報

6 モニタリング結果

令和4年度においては、第8期介護保険事業計画の2年目であり、おおむね計画通り推移しているサービスと、計画で見込んだ量及び給付費を下回るサービスが存在している。その背景には、新型コロナウイルス感染症の影響や計画で見込んだ事業所の整備が不十分であったこと等が考えられる。

第8期計画期間中も、第9期介護保険事業計画の策定に向けて、引き続きモニタリングを実施し、適切な介護保険サービスの提供に努める。